

## 令和2年度 区域まちづくり事業 効果検証シート

		実施主体			
チャレンジアート事業		東区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	成果指標 (R1までと実施内容等が異なる)	成 果		
			H30(参考)	R1(参考)	R2
アート創作での取組みを通して子とその保護者の絆を深めるふれあいの機会を提供するとともに、区民の芸術・文化活動に対する関心を深め、子どもたちの豊かな感性を醸成し、地域の芸術文化活動のさらなる活性化に寄与することを目的とする。また、作成した作品を東区役所で展示し、広く区民に芸術・文化とふれあう機会を提供する。	・アート創作を通じて、子どもたちの豊かな感性が醸成し、子とその保護者のふれあいや絆が深まる。 ・身近で活動する芸術家と協働することで、地域の芸術・文化の振興が図られ、芸術・文化に対する関心が高まる。 ・芸術、文化と身近にふれあえる機会を提供することで、区民の芸術文化活動の活性化や芸術・文化に対する関心が高まる。	アンケートによる満足度調査(良かったの割合)	親子:97% 区民:100%	親子:93% 区民:81%	95%
		応募人数 (当初予定人数割合)	親子:33組 区民:41人	親子:34組 区民:36人	117人 (195%)
		来場者人数 (応募人数割合)	846人	836人	143人 (122%)
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 芸術・文化にふれあえる機会や親子の絆を深める機会を創出し、区民の芸術・文化に対する関心の向上や子どもたちの豊かな感性の醸成など、地域全体の芸術・文化の振興を図る事業であるため行政が実施すべき事業である。	○ 区域で活動する芸術家たちと協働で事業を企画・実施。	○ チャレンジアートでは、作品作りを通じて、親子のふれあいの機会を創出している。また、区民が応募した作品(塗り絵)を東区を中心に活動しているアーティスト達が灯籠に創作し展示することにより誰でも参加しやすく、新型コロナウイルス感染症収束を願う「アovie」のテーマが区民の思いをつなげ、創作意欲の醸成につながり、幅広い年齢層へ広くPRできた。	○	塗り絵を区ホームページからダウンロードできるようにし、申請も電子申請システムを活用し、コロナ渦においても参加しやすいイベントにし、チャレンジアートをPRできた。 また、展示を区役所ふれあい健康広場(屋外)でイルミネーションと同時開催で実施することで芸術・文化に身近に触れあえる機会を創出し、事業をPRできた。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 地域全体で芸術に取り組む意識を醸成するために、現段階では行政の主導で実施すべき事業である。	○ 今年度は実施内容および実施方法が変更となったが、当初応募人数予定60人を大きく上回り、参加者のアンケート結果では、非常に満足度が高い結果となっている。参加内訳も未成年が52%であり家族での参加も多数あり、また、幅広い年齢層の方が参加され、気軽に参加できる身近なイベントであった事が分かる。次年度以降も、工夫・改善を加えながら継続して実施していきたい。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	チャレンジアートは満足度が高く高評価であった。また、より多くの方や家族に参加いただけるように、企画内容および募集の方法等について工夫したい。次年度以降も、継続・発展的に事業が展開できるよう、アートひがし実行委員会としっかり連携しながら、区民の皆さんが気軽に芸術・文化にふれあえる場となるよう工夫・改善に取り組んでいきたい。				